



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2018-2019年度 国際ロータリーのテーマ

2018年



インスピレーションになるう

BE THE INSPIRATION

R.I 会長 バリー・ラシン

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 松島宏明 幹事 木村洋一

クラブ会報・情報委員会 飯塚莊一・大島千賀子・飯山順一郎

12月3日号

第3091回例会

(11月26日(月)第4例会)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 委員会報告 |
| 2. ロータリーソング斉唱 | 8. 卓 話 |
| 3. 来訪者紹介 | 「桐生の魅力を感じる日々」 |
| 4. ロータリー情報アワー | フォレストリップ 吉田 聡子 様 |
| 5. 会長の時間 | 9. 点 鐘 |
| 6. 幹事報告 | |

ようこそビジター

<高崎 RC> 第2840地区パストガバナー・パスト会長 田中 久夫 君 ・ パスト会長 市川 豊行 君
直前会長、戦略計画委員長 関口 俊介 君 ・ RYLA 研修会実行委員会副事務局長 永塚 徹 君
<卓話者> フォレストリップ 吉田 聡子 様

ロータリー情報アワー 会員研修委員 前原 勝君
11月はロータリー月間です。1931年11月12日にアーチ・C フランクという6人目のRI会長となった方が全世界的に規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野で基金をつくらうと提案したことに始まった。財団の使命には6つの重点分野(平和と推進・水と衛生・母子の健康・教育と支援・地域経済の発展・疾病との闘い)がありこれに多大な影響をもたらす大規模なプロジェクトや活動に補助金を活用できます。
ロータリー財団は、皆さまからのご寄附を世界各地での奉仕活動に役立てています。創立以来100年間、財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額30億ドルの資金を提供してきました。ひとつひとつのご寄附により、世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育の支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。ロータリー財団に寄付する理由は、寄付の90%以上が奉仕プロジェクトに直接生かされます。透明性を重視し、責任ある資金管理を行っているため安心してご寄附いただけます。世界に35,000あるクラブは、発展途上国にきれいな水をもたらし、平和活動に携わる人材を育成するなど、世界中で持続可能な影響をもたらしています。ポリオ撲滅活動においても、予防接種活動を通じて発症数を世界で99.9%減少させてきました。

た。わずかなご寄付で一人の命を救う事ができます。一人の子どもをポリオから守るのに必要なワクチンのコストは、わずか60¢(約70円)さらにロータリーがポリオ撲滅に投入する資金に対してビル&メリンダ・ゲイツ財団が2倍の額を上乗せするため、ご寄付が3倍になってポリオ撲滅活動に生かされます。
ロータリークラブ活動の分野

○平和の推進

昨年、紛争と暴力によって6800万人以上が家を失い、故郷を追われました。その半数が子どもです。ロータリーは、奉仕プロジェクト、平和フェロウシップ、奨学金などさまざまな形で、紛争の根底にある諸問題(貧困、不平等、民族間の緊張、教育機会の欠如、資源の不平等など)に取り組んでいます。

○水と衛生

安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利。なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています。ロータリーは、水と衛生分野の専門家を育成する奨学金を提供することで、次世代のリーダーを育成することに投資しています。

○母子の健康

栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能な原因で毎年5歳未満で命を落とす子どもは、世界で推定590万人。教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなど、ありとあらゆる方法で母子の健康を推進しています。

○教育の支援

読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界に約7億7500万人。これは全世界の成人の17%にあたります。しかも、学校に通っていない子どもは世界に6700万人いると言われていています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、目標です。

○地域経済の発展

雇用されているにもかかわらず1日にわずか1\$90¢(約220円)で暮らしている人の数は、世界で約8億人。ロータリーは、貧困問題に持続可能な解決策をもたらすために活動しています。

○疾病との闘い

基本医療を受けられない人は世界で4億人とされています。質の高い医療を受ける権利はすべての人にあると、信じています。

会長の時間

今日は高崎 RC 田中バスターガバナーをはじめ4名のお客様がいらしています。高崎 RC は桐生 RC と同様に月曜日例会ということで、なかなかお越しただけなのですが、プログラムの関係で今日おいで頂ける運びとなりました。

11月はロータリー財団月間です。今年桐生 RC では教育をテーマに講演会を実施しましたが、それぞれのメンバーはロータリー以外でも様々な活動を行っています。私は青少年愛育運動協議会(青少愛)というところの会長を務めています。青少愛は桐生独自の団体ですが、様々な青少年団体が集まる協議会です。その様々な団体にもそれぞれの問題が浮かび上がります。たとえばPTAは役員のみ手がいない、子供会は単子子供会が活動を休止していく等々、それを連絡調整していくべきは青少愛だと思うのですが、なかなかその活動が思うようにいきません。できないことを述べるより、できる活動をしていくべきは私たち自身です。

《報告》

- ・11/19 クラブ協議会、臨時理事会
- ・11/22 桐生市ごみ減量化推進協議会
第2回幹事会 腰塚社会奉仕委員長

《予定》

- ・12/3 年次総会

幹事報告

・桐生赤城RCより週報到着。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成30年11月26日)

総員66名:出席39名

平成30年11月12日例会修正出席率:74.24%

☺ ニニコボックス

田中久夫直前ガバナー…お世話になります/前原勝君・柳明彦君…田中直前ガバナーをはじめ高崎 RC の皆様方をお迎えして/小林康人君…結婚祝/前原勝君…誕生祝。

卓話



「桐生の魅力を感じる日々」

フォレストリップ

吉田 聡子 様

私は梅田町3丁目の高沢地区でフォレストリップという場所をやっております。フォレストリップは私が作った言葉なのですが、フォレスト(森)とトリップ(旅)を合わせた言葉です。トリップには短い旅、日帰り旅行などの意味合いも含まれているため、森の中へ小さな旅をするように、日常から少し離れて自然の中でゆっくり過ごして欲しい、そんな思いでつけました。場所は、お配りしたショップカードの地図に書いてありますが、カフェレストランニルスさんからさらに5分ほど車を走らせた山の中にあります。ドッグランのほかにキッチンカーを使ったコーヒースタンド・デイキャンプエリア・川遊びエリア・休憩場所・登山客のためのトイレなどの施設があります。

ドッグランという施設がどのようなものか、よく知らない方も多いと思いますので、少し説明させていただきます。

定義としては、飼い主さんの監督の下、犬がノーリードで走れる場所です。沢山の犬が遊びにくるので、ある程度のマナー、しつけは必要です。ドッグランには利用規約や注意事項があり、利用条件として犬の登録がされているか、狂犬病、ワクチンの接種は済んでいるか、などがあります。使い方は人それぞれで愛犬と遊びたい・ほかの犬と遊ばせたい・思いっきり走らせたい・同じ犬種の交流会(オフ会)・しつけの練習など、様々です。フォレストリップでは、ビジター利用も出来ますが、会員制にしています。利用する人同士の人となり、犬となりが分かるので、会員制の方がトラブルも少ないことから、会員制のドッグランも多いです。

現在会員様は100名を超え、市内、市外から、県外からも多くのお客様にご利用いただいております。

平日は平均4～5頭で、犬が苦手な子、上手く遊べない子がくることもあります。週末は平均10～20頭(最高35頭)で、午後はとくに混み合います。

おかげさまで、とてもいい会員様ばかりで、みなさま和気藹々と楽しく利用していただいています。

ドッグランは、ただ単に犬を運動させるという事だけではなく、飼い主同士の情報交換、しつけの悩み、ベテラン飼い主さんのアドバイスがもらえたり、犬同士が仲良くなったり、飼い主として成長できる場所だと思います。私は、ドッグランを始める前、産婦人科で栄養士として働いていました。やりたいと思ったのは、愛犬と出会い、ドッグランに通い始めてからです。

その時は静岡県掛川市に住んでいたのですが、主人と移住についても考えるようになり、全国の物件を探していたところ、桐生市の空き家バンクでいまの場所を見つけ、3年前に移住してきました。初めて下見に訪れたときのことは、今でもよく覚えています。

重伝建の美しい建物や、時折目に入る三角屋根、骨董市の看板にわくわくしました。古いものや骨董が好きなので、こんな街に住みたいと、物件も見えていないのに住む気満々だった気がします。

移住してからは、敷地内の整備やドッグランの構想を練ったり、忙しく大変な日々が続きました。自分でも積極的に動くようになり、友達もすこしづつ、増えてきました。

ドッグランをやっていく上で、私が大切にしていたことは出来るだけ、地元の人に頼みたい、地元のものを使いたい、ということです。

なんせすきな言葉は地産地消

友達のツテを借り、いろんな方を紹介してもらいました。その結果、沢山の方とつながることが出来ました。そのひとつが、桐生駅前にあるノーリーズコーヒーです。うちのコーヒースタンドで提供しているのはこちらで焙煎されたスペシャルティコーヒーなのですが、お客様からも大変好評を頂いております。

オーナーのノリさんはコーヒーのことが本当に大好きで大好きで、とても熱い男です。今年台湾に2号店がオープンしたので、ノリさんは今台湾で奮闘中です。ノーリーズもそうですが、同世代でUターンしてきている人が多いような印象を受けます。

ドッグランを始めてから、お客様にご縁をつないでいただき、いまわたしの生活の一部となっているのが八木節です。初めて八木節祭りに参加したのは2年前なのですが、だれでも参加できるということに衝撃を受けつつ、3日間楽しみました。その年に桐生市が開催している八木節教室に音頭で参加しました。常連さんにその話をすると、その方が桐生日昇会のメンバーで、気づいたら日昇会に入ることになっていました。月1で全体練習がある他に、毎週水曜の夜は自主的に集まったメンバーで1時間半ほどお囃子の練習をしています。今年は無事にやぐらデビューも果たし、今年の八木節教室では傘踊りを習得し、先週木曜日の成果発表会では踊りまくりました。今では車の中でも練習を兼ねて八木節のCDをかけていたりするので、友人を車に乗せると笑われます。

フォレストリップでドッグランとともにこれから取り組んで行きたい事、それが、NPO法人森の蘇りが進めている、きらめ樹という皮むき間伐です。

フォレストリップの周りは、杉林に囲まれています。放置された真っ暗な人工林を毎日見ていると、木々が狭そうに、窮屈そうに見えてきて、どうにかしたいなあとおもうようになりました。桐生にはこのような山がたくさんあるのではないのでしょうか。

去年、今年とお話会、選木、皮むき間伐、伐採デモのイベントを行い、合計で100名近くの方にご参加いただきました。ドッグランのお客様をはじめ、ココトモさんの協力で市内の小学校にもチラシを配り、沢山の家族連れにもご参加いただきました。

子供たちが山の中を走りまわる姿はなんとも幸せな光景で、いつもは静まりかえっている暗い山が嬉しそうでした。まだまだ始めたばかりの計画で、これから製材、加工の流れも作っていかねばいけけないので問題は山積みですが、大好きな桐生の山を明るくしたい、という思いで頑張ってきたと思います。

本日の食事



美喜仁 大江戸寿司

❀本日のお花❀



【例会予告】

12月10日(月) ◆ 卓話 米山奨学生
孫逸菲様

◆ 食事 ランプ

17日(月) 家族合同忘年クリスマス会
点鐘:午後6時30分
場所:桐生プリオパレス

24日(月) 休会

31日(月) 休会